医学・歯学教育の改革

医学・歯学教育の在り方に関する
調査研究協力者会議報告(13.3.27)より

医学・歯学を取り巻く環境

これまでの医学・歯学教育の問題点

- ・情報の詰め込み、記憶教育偏重
- ・学生の卒業までの到達目標が不明
- ・基礎科目と臨床科目の間、講座間の壁
- ・臨床実習が短期ローテーションで、見学型
- ・教員、教員組織の能力不足

医学・歯学教育改革の目標

- ・コミュニケーション・安全管理能力の向上
- ・基本的臨床能力(態度・技能・知識)の修得
- ・統合型カリキュラムの導入
- ・課題探求(問題解決)型学習プログラムの提供
- ・多様な学習プログラムの設定

カリキュラム改革

モデル・コア・カリキュラムの策定

教育能力・体制の改革

**全国医学・歯学教育指導者研修会
の開催
教員の教育業績評価ガイドラインの策定**

臨床実習の改革

**適切な評価の実施
臨床実習前の
共用試験の実施**

実習体制の充実

**診療参加型臨床実習
ガイドラインの策定**

診療参加型実習への転換

幅広く質の高い臨床能力の修得

質の高い臨床能力、課題探求(問題解決)能力 ⇒ **患者中心の医療**